

おおてみち

第110号

令和2年(2020年)1月1日
滋賀県立安土城考古博物館



楳図 海北友松筆 滋賀県立琵琶湖文化館蔵

滋賀県立琵琶湖文化館・滋賀県立安土城考古博物館連携企画展
滋賀県立安土城考古博物館 第61回企画展

安土・桃山時代の 近江展

琵琶湖文化館収蔵品を中心に



草津市指定文化財 壬会図屏風(部分)
草津市 観音寺蔵・滋賀県立琵琶湖文化館寄託

令和2年
2月8日(土)～4月5日(日)

開館時間 午前9時～午後5時 ※ただし、入館は午後4時30分まで
休館日 月曜日 ※月曜日が振替休日の場合は翌日
入館料 大人600円(480円) / 高大生360円(290円)
※小中生・県内高齢者・障害のある方は無料。 ※()は20人以上の団体料金です。
信長の館との共通券 大人980円 / 高大生540円



草津市指定文化財 秋草蒔絵湯桶
草津市 観音寺蔵・滋賀県立琵琶湖文化館寄託

近江風土記の丘
滋賀県立 安土城考古博物館
Shiga Prefectural Azuchi Castle Archaeological Museum



『安土・桃山時代の近江展 琵琶湖文化館収蔵品を中心に』

会期 2月8日(土)～4月5日(日)
会場 企画展示室

安土・桃山時代は一六世紀後半から一七世紀初頭までのわずか五〇年ほどの短い期間ですが、社会、経済、文化の各分野において大きな変化をもたらしました。この時代、織田信長が天下統一を成し遂げ、琵琶湖畔にはそのシンボルともいえる安土城が築城されます。長い戦乱の世から復興を遂げようとするこの時代、華やかな美意識に満ちた造形が花開きます。

本展では、滋賀県内の社寺から琵琶湖文化館に寄託されている作品および琵琶湖文化館が所蔵する作品の中から、安土・桃山時代の優品を紹介いたします。

絵画では、近江出身の巨匠・海北友松や狩野派の絵師による豪放かつ華麗な作品、工芸品では、洗練された大胆な意匠で装飾された蒔絵調度品を展示します。さらに、琵琶湖の船奉行を務め、大名格の寺院として存在した観音寺(芦浦観音寺)に伝来する「芦浦観音寺文書」に焦点を当て、織田信長や豊臣秀吉などの戦国大名文書や琵琶湖の湖上交通に関する古文書を展示します。

《主な展示資料》

△は県指定文化財、□は市指定文化財
檜図 海北友松筆

滋賀県立琵琶湖文化館蔵

□王会図屏風

草津市観音寺蔵・滋賀県立琵琶湖文化館寄託

□秋草蒔絵湯桶

草津市観音寺蔵・滋賀県立琵琶湖文化館寄託

菊桐蒔絵堺重

草津市観音寺蔵・滋賀県立琵琶湖文化館寄託

△信楽矢筈口水指

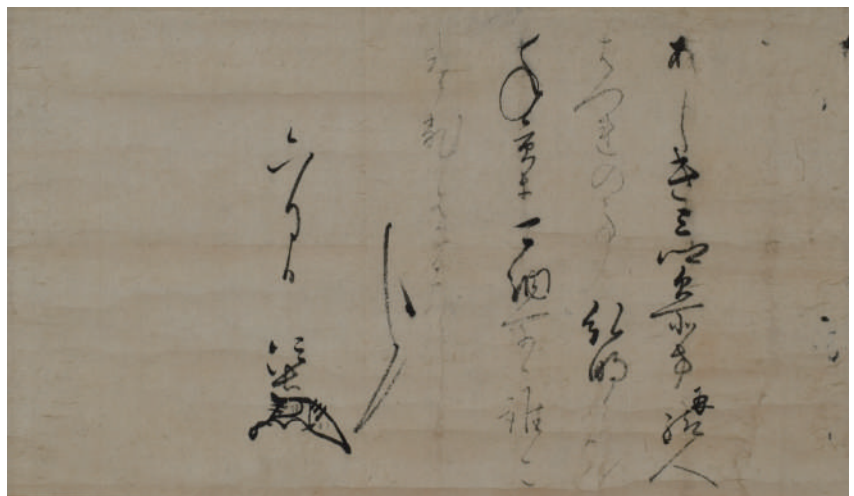
滋賀県立琵琶湖文化館蔵

△織田信長判物(芦浦観音寺文書のうち)

草津市観音寺蔵・滋賀県立琵琶湖文化館寄託



秋草蒔絵堺重 草津市観音寺蔵・滋賀県立琵琶湖文化館寄託



滋賀県指定文化財 織田信長判物(芦浦観音寺文書のうち)
草津市観音寺蔵・滋賀県立琵琶湖文化館寄託

関連講座

①「近江の明智光秀文書および安土宗論について」

講師：井上優氏(滋賀県教育委員会)

日時：2月16日(日) 13時30分～15時

②「桃山時代の工芸品」

講師：古川史隆氏(滋賀県教育委員会)

日時：2月23日(日・祝) 13時30分～15時

※講座会場はいずれも当館2階 NPSセミナールーム
当日先着順、定員一四〇名、二〇〇円

収蔵資料紹介

メダリオン

桃山から江戸時代初期

総長二一・三cm×幅七・二cm

当館蔵

昨年七月、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」がユネスコの世界文化遺産に登録され、国内二二件目の世界遺産として、大きな話題となりました。一六世紀中頃にヨーロッパから伝わり、我が国に急速に広がったキリスト教は、まもなく豊臣秀吉や徳川幕府などの時の権力から信仰を禁じられ、信徒は弾圧を受けながら、二〇〇年以上のあいだ、密かに信仰を守り続けます。その歴史を物語る遺跡群が、世界的に普遍的価値を認められ、登録に至ったのです。

とはいえ、異国的雰囲気を漂わせた潜伏キリシタンの遺跡や遺品など、遠い九州の話で、滋賀県とは関係がないと思ってしまうませんか？

確かに、県内にはそのような遺跡はまだありません。しかし、遺跡がないから存在しないと切り切れないのが、歴史の難しいところです。



昭和四〇年頃、草津市内の旧家草川家で、仏壇の蓮台の隙間から思いもかけず聖母マリアのメダリオンが出てきたそうなのです。この周辺に、今は信仰の痕跡は見られませんが、昭和頃はキリシタン墓が残っていたという人もいます。

掌に乗るほどの大きさのメダルの中に、合掌して三日月に乗るマリアが浮き彫りにされたものですが、これは「無原罪の聖母」という画題で、キリストの母であるマリアは、男女の交わりなく母アンナから生を受けたため、すべての原罪から免れている、ということの意味しているそうです。同じ型で作られるなど、ほぼ同じメダリオンが東京や長崎などで五点確認されており、中でも東京国立博物館所蔵の品は、鎖国中の数少ない海外への窓口であった長崎の出島を管轄した長崎奉行所関係資料に含まれており、重要文化財に指定されています。

このメダリオンは、顔も含め細部の鋳だしが甘く、右下の部分は鋳残しか後に割れるなどして欠失しており、その部分を藍色に染め和紙でふさいでいます。金属成分は、奈良大学の協力で蛍光X線分析を行った結果、銅と錫の合金である「青銅」であることがわかりました。

そのメダリオンが、このほど一〇月一日付で滋賀県に寄贈されることとなり、戦国・安土桃山時代をテーマの一つとする当館の収蔵品となりました。今後展示で、皆さんにご覧いただく機会も増えることと思います。

(高木叙子)

連続講座II

「近江の史跡」



芦浦観音寺

④「芦浦観音寺」

講師：福田由美子氏（草津市教育委員会）
日時：1月11日（土） 13時30分～15時

⑤「百濟寺境内」

講師：明日一史氏（東近江市教育委員会）
日時：1月18日（土） 13時30分～15時

※講座会場はいずれも当館2階 NPSセミナールーム
当日先着順、定員一四〇名、二〇〇円

もっと楽しむ博物館

子ども学芸員

日時：3月15日（日） 13時30分～15時

会場：会議室

定員15名・要予約・五〇〇円

博物館の主な催し

			企 展 示	画 室
1 月	11日(土)	連続講座Ⅱ④「芦浦観音寺」 講師：福田由美子氏（草津市教育委員会） 13時30分～15時【有料】		
	18日(土)	連続講座Ⅱ⑤「百済寺境内」 講師：明日一史氏（東近江市教育委員会） 13時30分～15時【有料】		
	27日(月)～	メンテナンス休館 (2月7日(金)まで)		
2 月	16日(日)	企画展関連博物館講座①「近江の明智光秀文書および安土宗論について」 講師：井上優氏（滋賀県教育委員会） 13時30分～15時【有料】		
	23日(日・祝)	企画展関連博物館講座②「桃山時代の工芸品」 講師：古川史隆氏（滋賀県教育委員会） 13時30分～15時【有料】		
3 月	15日(日)	こども学芸員 (内容) 当館学芸員と縄文時代や弥生時代の土器から当時の食べ物の痕跡を見つけ出す研究をしよう。 13時30分～15時【要予約・有料】 会場：会議室		
4 月	24日(土)～	春季特別展「信長と光秀の時代」		

2月8日(土)～4月5日(日)
 第61回企画展
 『安土・桃山時代の近江展—琵琶湖文化館収蔵品を中心に—』

※連博物館関連講座の会場は当館 NPS セミナールームです。

※事情により行事内容や日時・講師が変更になることがあります。最新の情報は当館ホームページでご確認ください。

※滋賀県立安土城考古博物館は公益財団法人滋賀県文化財保護協会が指定管理しています。

おおてみち 第110号
令和2年(2020年) 1月1日発行

編集・発行 滋賀県立安土城考古博物館
〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊浦 6678 TEL0748-46-2424
E-mail : gakugei@azuchi-museum.or.jp URL : http://www.azuchi-museum.or.jp